

## 医薬品の供給不安定を国の責任で改善することを求める厚労省要請（11月9日）

### 事前質問

後発医薬品を中心とする医薬品供給不安定について、保団連として別紙のとおり要請書を提出しております。今回の要請にあたって、以下の通り、追加で質問いたします。要請書への見解とあわせて、ご回答下さいますようお願い申し上げます。

#### 1. 医薬品不足の原因に対する政府・厚労省としての認識について

医薬品不足の原因を政府・厚労省としてどのように考え、また、その中で政府・厚労省として負っている責任をどのように考えているかお答えください。

#### 2. 長期収載品の自己負担引き上げの中止について

厚労省は社保審・医療保険部会（9月29日）で、後発品への置き換え促進などを目的に長期収載品について後発品との薬価差を患者の自己負担に上乘せするなどの案を示しました。日経新聞（10月29日付）では、2024年以降の実施を目指すとも報道されています。医療現場では、後発品を中心とした深刻な医薬品不足のため、処方変更等様々な対応を取りながら医療提供の努力をしており、その中では後発品から長期収載品への切り替えも生じています。後発品不足は今後数年解消されない見通しです。こうした状況での長期収載品の自己負担引き上げは、患者や医療機関等には選択の余地のない不合理な負担増を強いるものです。長期収載品の自己負担引き上げの中止を求めます。厚労省の見解をお聞かせください。

#### 3. 院内処方と院外処方の併用の要件緩和について

院内処方と院外処方の併用は原則認められておらず、「緊急やむを得ない事態」においてのみ、レセプト「摘要」欄に日付と理由を記載すれば認められています。現在の医薬品不足を、院内処方と院外処方の併用が認められる「緊急やむを得ない事態」に準ずる事態として認め、また、その旨を厚生（支）局、審査支払機関に通達するよう求めます。地域の医療機関、薬局全体が医薬品不足に陥っているため、院内処方と院外処方を併用できれば患者に必要な薬を手渡せるが、これが認められていないため対応に苦慮しているケースが報告されています。厚労省の見解をお聞かせください。

#### 4. 咳止め薬、去痰薬の供給見通しについて

武見敬三厚労相が10月18日の会見で、咳止め薬・去痰薬の供給追加を主要メーカーに要請しました。現在の供給状況と、今後の安定供給への見通しをお聞かせ下さい。

以上